

3. ヒューマカート (キット)

		カット内容	せりふ	映像	音響
C1	0分00秒	初老の男性	N インスリン療法を始める患者さんにとって		
	0分04秒	男性が腹部に注入器をあてがう	自己注射はやはり不安なもの、まして	モノクロ ズーム	
C3	0分09秒	容器から小ビンを取り出す	手順が複雑になればなるほど、	ズーム	BGM(1)
	0分11秒	小ビン	その不安も高まります。	ズーム	
C5	0分13秒	片手で小ビンを振っている	すでにインスリン療法を導入している方からも、もっと簡単に注射が出来たら、	ズーム	
C6	0分18秒	小瓶に注射器を刺している	という	ズーム ワイプ (縦)	
C8	0分21秒	食卓で男性が腹部に注射器を刺している			
C9	0分25秒	勉強机の前で少女が注射器を刺している	誰にでも使いやすく、をコンセプトに		
C10	0分29秒	注入器を持った男性の後ろ姿	患者さんの立場を考えて設計された		
C11	0分33秒	ヒューマカート	ヒューマカートキットは、カートリッジ製剤と	ディゾルヴ	
C12	0分37秒	違う種類のヒューマカートが次々に現れる	注入器を一体化することで 操作がよりシンプルになった インスリン製剤です。	オーバー ラップ オーバー ラップ	
C15	0分42秒	3つのヒューマカート			
	0分44秒	オープニングタイトル		「ヒューマカート (キット) の使い方」 (黄色地)	
C17	0分53秒	説明者が画面右奥から登場			
	0分56秒	説明者が話す	T 皆さん、こんにちは。このビデオでは、インスリン製剤ヒューマカートキットの使用方法を分かりやすくご説明します。ヒューマカートキットにはR注、N注、3/7注の3種類があります。それでは、まず、ヒューマカートキットがどのような部品で構成されているのかご紹介しましょう。	「寺田理恵子」 ズーム	
C19	1分19秒	キャップとヒューマカート	N ヒューマカートキット本体は、 キャップ、 注入ボタン、 単位設定ダイヤル、 ノッチ、 単位表示窓、 ラベル、 インスリンカートリッジ、 カートリッジホルダー、 ゴム栓で構成されています。	「ヒューマカート (キット)」 (黄色地) (9つの名称が一つずつ現れる)	SE(1) BGM(2)
C29	1分40秒	注射針のパーツ	万年筆型注入器用使い捨て注射針は	ワイプ (横)	SE(1)
	1分45秒	ナレーションにあわせて青字の名称が1つずつ増えていく	針カバー、 保護シールで覆われ、 針本体には 針キャップがついています。	「万年筆型注入器用使い捨て注射針」 (黄色地) (4つの名称が一つずつ現れる)	
C34	1分55秒	説明者が話す	T 従来のインスリン注射は注入器、カートリッジ、針の3つの部品で構成されておりカートリッジの交換が必要でしたが、ヒューマカートキットは注入器とカートリッジが一体型のため、カートリッジの交換は必要ありません。	ズーム	
C35	2分12秒	大人の男性の前にノートPC	また、		
C36	2分14秒	手に持たれたヒューマカート	インスリン容量は3ml、	「インスリン容量は3ml (300単位)」	
	2分17秒	奥にノートPC	300単位、	ズーム	
C38	2分18秒	男性が立ち上がる	万年筆型なので日常生活でも		
C39	2分20秒	内ポケットにヒューマカート	違和感無く携帯できます。		
C40	2分23秒	説明者が話す (腰上)	使用するときも従来に比べ簡単に出来るように設計されています。使用方法は大きく分けて3つの項目に分かれています。		

		カット内容	せりふ	映像	音響
C41	2分34秒	説明者が右に向きなり、話す（層上）	まず最初に 単位設定の準備、次に 単位設定、 そして、最後に注射の仕方です。	↑ 「・単位設定の準備 ・単位の設定 ・注射」（黄色地・左下） ↓	
	2分44秒	説明者がヒューマカートを見せる	それでは、このヒューマカートキットの単位設定の準備からご説明しましょう。		
C46	2分49秒	青地にタイトルとヒューマカート		↑ 「単位設定の準備」 ↓	▲ BGM(3)
C47	2分54秒	ヒューマカートと針、綿	N まず、注射を行う前に手を洗い、ヒューマカートキット、注射針、アルコール綿をご用意ください。	↑ 「ヒューマカート（キット） アルコール綿 万年筆型注入器用使い捨て 注射針」 ↓	▲ BGM(4)
C48	3分04秒	女性がヒューマカートを持っている（左前方から）	用意が出来たら、		
C49	3分08秒	手に持たれたヒューマカート（見た目）	主治医から指示された製剤であることをラベルをみて確認し、ヒューマカートキット	↑ 「主治医から指示された 製剤であることを確認 する」 ↓	
C50	3分13秒	女性がキャップをはずす（左前方から）	本体からキャップを外します。		
	3分17秒	女性がヒューマカートを手のひらで転がす	懸濁製剤の場合はインスリンが均一に混ざるまで少なくとも10回振ってください。	↑ 「インスリンを均一に混 ぜる」 ↓	
C52	3分22秒	女性がヒューマカートを振る		↓ ワイブ （横）	
C53	3分28秒	手に持たれたヒューマカート（見た目）	次は、針の取り付けです。	↑ 「針の取り付け」（黄色枠・左上） ↓	SEQ(1)
	3分33秒	綿でヒューマカートの先端をふいている	インスリンカートリッジのゴム栓をアルコール綿で丁寧に拭きます。	↑ 「ゴム栓を消毒する」 ↓	
C55	3分42秒	シールをはがしている	注射針の保護シールを外し、	↓ ワイブ （斜め）	
	3分45秒	針カバーを本体に向ける	針カバーごとまっすぐ差し込み、		
C57	3分49秒	女性が針カバーを本体に取り付けている（左前方から）	しっかりと回して取り付けます。	↑ 「ゴム栓にまっすぐ取り 付ける」 ↓	
			取り付けたら、針カバーと針キャップを取り外し		
C58	4分02秒	針カバー・針キャップを取る	空打ちを行います。		
C59	4分03秒	女性がヒューマカートを持っている（層越し）		↑ 「空打ち」（黄色枠・左上） ↓	SEQ(1)
C60	4分08秒	ヒューマカートの表示窓付近（見た目）	単位表示窓に矢印が表示されていることを確認してください。	↑ 「矢印が表示されている ことを確認する」 ↓	SEQ(2)
				単位表示窓に赤い○ ワイブ （横）	
C61	4分16秒	ヒューマカートのダイヤルを指で回す	もし矢印が表示されていない場合は、単位設定ダイヤルを矢印が表示されるまで回してください。		
			矢印が表れるとノッチが揃います。	↑ ノッチ部分に赤い○ ↓	SEQ(2)
C63	4分32秒	女性が顔の前にヒューマカートを持つ（左前方から）			
C64	4分37秒	ヒューマカートの表示窓付近（見た目）	そして、単位設定ダイヤルを単位表示窓に0が表れるまで引っ張り、2が表れるまで回します。	↑ 「単位設定ダイヤルを0 まで引っ張り、2単位 に設定する」 ↓	
C65	4分46秒	ヒューマカートの表示窓付近（見た目・枠あり）	単位設定ダイヤルを引っ張り0にしないと単位設定が行えません。	↑ 画面に緑色枠 ↓	SEQ(3)
C66	4分53秒	女性が水平にヒューマカート	針を上に向けて	↑ PinP（画面右下） ↓	
	4分56秒	を持ち指ではじく（左前方から）（PinP：単位表示窓）	本剤を持ち、透明なカートリッジホルダーを指で軽く叩きます。	↓ ワイブ （横）	
C68	5分00秒	指ではじくところ（見た目）			
C69	5分02秒	上に向けたヒューマカート	これで飛泡が上部にたまります。	↑ ズーム ↓	
C70	5分08秒	女性が顔の前にヒューマカートを持ち、先端から液が出てくる（左前方から）	注入ボタンを最後まで押し、そのまま5秒間待ちます。インスリンが出てきたことを確認してください。		
C71	5分18秒	上に向けたヒューマカート（見た目）	以上で単位設定の準備は終了です。		

		カット内容	せりふ	映像	音響
C72	5分24秒	説明者が話す	T それでは、単位設定の準備での注意点を 説明します。		
	5分31秒	説明者の左側に小さな画面が 現れる (PinP: ヒューマカート)	まず、指示されたインスリン製剤である ことをラベルを見て必ず確認してください。	↑ PinP (画面左上)	SEQ(4)
	5分37秒	(PinP: 注入器の部分)	そして、懸濁したインスリンの場合は、		
	5分41秒	(PinP: ヒューマカートを振 る)	先ほどのVTRのように均一に混ざるまで		
	5分45秒	(PinP: 注入器の部分)	少なくとも10回振ってください。		
	5分48秒	(PinP: 針を取り付け針カ バーを取る)	そして、針を取り付けますが、針カバーは 注射後		
	5分52秒	(PinP: 針カバー)	針を取り外す時に使いますので、 捨てずにとっておいてください。		
	5分56秒	(PinP: 空打ち: 肩越し)	また、空打ちをしてもインスリンが出てこ なかった時は、 空打ちの手順を最初から繰り返してくださ い。そうしないと正しい量のインスリンが 注射されない場合がありますので、空打ち は毎回確実に行ってください。		SEQ(5)
C82	6分16秒	説明者が左に向きなり、 話す	単位設定の準備が終わったら、今度は単位 の設定です。		
C83	6分21秒	青地にタイトルとヒューマ カート		↑ 「単位の設定」	↑ BGM(3)
C84	6分27秒	女性がヒューマカートを持つ (肩越し)	N 単位設定ダイヤルを	↑ 「単位の設定」 (黄色枠・左上)	↑ SEQ(1)
C85	6分29秒			↑ 単位表示窓に赤い○	↑ SEQ(2)
C86	6分31秒	手に持たれたヒューマカート (見た目)	矢印が 表示されるまで回してください。 矢印が表れるとノッチが揃います。 単位設定ダイヤルを 矢印の方向へ単位表示窓に0が表れるまで 引っ張ります。	↑ ノッチ部分に赤い○ ↑ 「単位設定ダイヤルを0 まで引っ張る」	↑ SEQ(2) ↑ BGM(5)
C91	6分49秒	手に持たれたヒューマカート (見た目・緑色枠あり)	単位設定ダイヤルを0まで引っ張らないと単位 設定ができません。	↑ ワイプ (横) 画面に緑色枠	↑ SEQ(3)
C92	6分58秒	女性がヒューマカートのダイ アルを回す (肩越し)	主治医に指示された単位が単位表示窓に表 示されるまで単位設定ダイヤルを回しま す。	↑ 「主治医に指示された単 位に設定する」	
C93	7分07秒	手に持たれたヒューマカート (見た目)		↑ 「*12単位の場合」 (赤字 ・右上)	
C94	7分15秒	手に持たれたヒューマカート (見た目)	単位を多く設定してしまった場合は、単位 設定ダイヤルを逆に回して正しい単位に戻 してください。	↑ ワイプ (横)	
C95	7分26秒	女性がヒューマカートを持つ (肩越し)	以上で単位の設定は終了です。		
C96	7分31秒	説明者が話す	T それでは、単位設定の注意点を 説明します。		
C97	7分37秒	説明者の左側に小さな画面が 現れる (PinP: 単位表示窓)	単位を設定する時ですが、 インスリンの分量を超えた単位の設定は出 来ません。残量が少ないときは設定できる 単位まで注射し、	↑ PinP (画面左上) ↑ 「*12単位の場合」 (赤字)	SEQ(4)
	7分47秒	(PinP: 2つの単位表示窓)	新しいヒューマカートキットで空打ちした 後に不足の単位を注射するか、 残量の少ないものは使わずに、	↑ 「8単位+4単位 =12単位」 (黄字)	
	7分51秒	(PinP: ヒューマカート)	新しいヒューマカートキットで空打ちした 後に指示された単位を注射してください。		
	7分54秒	(PinP: もう1つのヒュー マカートが追加される)			SEQ(5)
C102	8分00秒	説明者が話す	これらの使用法に従わないと、正しい量の インスリンが注射されない場合があります ので気を付けてください。		

		カット内容	せりふ	映像	音響
C103	8分09秒	説明者が右に向きなおし、話す	この手順をより簡単に行うために、ヒューマカートキットは次のようにデザインされています。		
C104	8分19秒	初老の男性がヒューマカートを持っている	まず、単位の設定は1単位刻み、60単位まで設定が可能です。	↑「1単位刻み60単位まで」	↑
C105	8分23秒	黒地に単位表示窓の部分	単位表示窓にはレンズが付いているので数字も見やすくなっています。		BGM(6)
	8分31秒	注入器の部分、テロップ	また、うっかり多く単位を設定してしまった場合も、ダイヤルを逆に回すだけで簡単に単位修正を行います。	↑「単位修正はダイヤルを逆に回すだけ」(黄字)	↓
C107	8分40秒	説明者が話す	単位設定が終わったら注射を行います。		
C108	8分45秒	青地にタイトルとヒューマカート		↑「注射」	↑BGM(3)
C109	8分50秒	女性が服のすそを持ち上げ腹部を綿でふく(正面)	N 主治医の指示に従って注射部位を	↑「注射」(黄色枠・左上)	↑SE(1)
	9分03秒	女性がヒューマカートを腹部にあてがう	アルコール綿で消毒します。		BGM(7)
	9分03秒	女性がヒューマカートを腹部にあてがう	設定した数字が正しいことを確認したら、片方の手で皮膚を摘んで注射を行います。		
C112	9分12秒	腹部にあてがわれたヒューマカート	注射時には注入ボタンを最後まで押し切り、押したまま5秒間待ち、針を抜きます。		
C113	9分23秒	女性がヒューマカートを外して腹部を綿で押さえる	注射部位は揉まずにアルコール綿などで軽く押さえてください。		
C115	9分33秒	ヒューマカートに針カバーをつけて、針を取る(見た目)	注射が終わったら針カバーを付けて針を取り、	↑「まっすぐにかぶせない と針が針カバーを突き破ることがありますので注意してください」(赤地)	
	9分43秒	ヒューマカートにキャップを付ける	主治医から指示された方法で針を捨ててください。		
C119	9分47秒	キャップのついたヒューマカート	そして、キャップを付けて終了です。		
C121	9分53秒	針つきのヒューマカート	注射が終わった後針を付けたまま本剤を保管したり、捨てたりしないでください。	↑ディゾルヴ ↑画面に緑色枠 ↑ワイプ(横)	↑SE(3)
C122	9分58秒	説明者が話す	T それでは、注射の仕方の注意点を説明します。注射を行うときは、	↑「針をつけたまま保管したり捨てないようにする」(黄字)	
C123	10分05秒	説明者の左側に小さな画面が現れる(PinP:ダイヤルを押す)	注入が終了するまで単位設定ダイヤルを回さないよう気を付けてください。	↑PinP(左上)	SE(4)
C124	10分12秒	(PinP:針カバーを取る)	また、注射が終わったら必ず針を外してください。		
	10分17秒	(PinP:針つきのヒューマカート)	針を付けたままにしておくと		
	10分21秒	(PinP:針部分のアップ)	インスリンの漏れ、空気の混入、詰まりの原因となります。		
	10分24秒	(PinP:女性がヒューマカートに針をつける:肩越し)	注射をする場合は、その度に新しい注射針をご使用ください。		SE(5)
C129	10分31秒	説明者が左に向きなおし、話す	ヒューマカートキットはこれらの手順を簡単に行えるように作られています。		
C130	10分37秒	テーブルの上のヒューマカートのキャップを外す	ヒューマカートキットはカートリッジの交換を無くしたため、		
C132	10分43秒	針をつける	針を付けて、	↑「①針をつける ②単位を合わせる ③注射する」 (一行ずつ表示・黄字)	↑ウイップ(斜め) 3回とも
C133	10分45秒	ダイヤルを回す	単位を合わせ、		
C134	10分47秒	ダイヤルを押す	注射する、という		
C135	10分49秒	少女がヒューマカートを腹部から外して机に置く	安全で簡単な操作で注射が行え、初めての方にも使いやすくなっています。	↑ディゾルヴ	

		カット内容	せりふ	映像	音響
C136	10分55秒	説明者が話しながら前へ出る	今までご覧いただいたように、ヒューマカートキットは1単位刻みで簡単に単位設定ができ、カートリッジの交換が不要な新しいインスリン製剤です。		↑ BGM(8)
C137	11分07秒	説明者が左に向きなおし、話す	インスリンの自己注射は難しいイメージがあったと思いますが、今回ご説明した使用方法と注意事項をしっかりと守れば、安全で簡単に自己注射を行うことができます。これまで見てきた使い方を覚えて、主治医の指示に従って正確で安全な注射を行ってください。また、ご使用に際しては、ヒューマカートキットに添付されている取り扱い説明書を十分にお読みください。	↑ ズーム ↓ ディゾルヴ	↑ BGM(8)
C138	11分40秒	説明者が礼をする			↓
C139	11分44秒	ヒューマカートと箱3つずつ		↑ 「ヒューマカート（キット）の保管・手入れ」（黄色囲み） テロップ ↓ 「使用上の注意」（黄色囲み） ↑ テロップ ↓	↑ BGM(9)
	11分48秒	テロップが流れる	N ヒューマカートキットの保管、手入れについては次の点にご注意ください。		
	12分11秒	タイトル、注入器3本、箱3個			
	12分14秒	テロップが流れる	ヒューマカートキットのご使用に当たり、正確で安全な注射を行うために次の使用上の注意をお守りください。		
C144	13分02秒	白地に会社名		↑ ディゾルヴ	↓